

日ごろから飼い主ができること



社会化

社会化とは、人や他のペット、様々な環境に慣らしていくことです。これを行うことで、他人や他のペットに友好的に接することができ、人もペットも避難生活のストレスが減り、預ける場所で迷子や保護された時でも扱いやすくなります。

- ・人やペットに慣らしておく
- ・様々な音に慣らしておく
- ・ケージやキャリーバッグに慣らしておく

社会化については、かかりつけの獣医師や訓練士などの専門家に相談しましょう。

しつけと健康管理

災害時には、人もペットも大きなストレスがかかります。慣れない避難所生活では、大勢の見知らぬ人やペットと一緒に生活することから、体調を崩しがちです。普段から健康管理に注意し、ブラッシングなどで体を清潔に保ち、予防接種や寄生虫の駆除をしておきましょう。

また、周りの人へのためだけでなく、ペットのストレスを軽減させる意味でも、しつけを普段からしておきましょう。

<犬のしつけ>

- ・「まて」「おすわり」「ふせ」などのしつけ
- ・ケージやキャリーバッグに入ることを嫌がらない
- ・決められた場所での排泄



<猫のしつけ>

- ・ケージやキャリーバッグに入ることを嫌がらない
- ・猫用トイレでの排泄
- ・人や他のペットを怖がらない

その他にも、飼い主ができることはたくさんあります。
ペットを守ることができるのは飼い主だけです！
そのためにも、日ごろの準備をしっかりとっておきましょう！

<問合せ先>

岡山県保健福祉部生活衛生課

TEL 086-226-7338

岡山県動物愛護センター

TEL 086-724-9512

一緒に避難しよう！

ペットの防災対策



ペットを守れるのは飼い主だけです。
日ごろから、災害が発生した時のペット対応について
家族と一緒に話していますか？
事前の準備が、いざという時に役立ちます！